Creative Enzymes®

ヒト由来カスパーゼ-7、組換え

Cat. No. NATE-0815

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	カスパーゼ-7はカスパーゼ（システインアスパラギン酸プロテアーゼ）ファミリーのメンバーであり、アポトーシスの実行タンパク質であることが示されています。カスパーゼの連続的な活性化は、細胞アポトーシスの実行段階において中心的な役割を果たします。カスパーゼは不活性な前酵素として存在し、保存されたアスパラギン酸残基で上流のカスパーゼ（カスパーゼ-8、-9）によってプロテオリティック処理を受け、二量体を形成する大サブユニットと小サブユニットの2つのサブユニットを生成します。このカスパーゼの前□体はカスパーゼ3、カスパーゼ10、およびカスパーゼ9によって切断されます。細胞死の刺激に□じて活性化され、アポトーシスを誘導します。代替スプライシングにより、3つの異なるアイソフォームをコードする4つの転写バリアントが生成されます。
用途	カスパーゼ阻害剤のスクリーニング、酵素調節の研究、カスパーゼ基質特異性の決定、またはカスパーゼ活性アッセイにおける陽性□照として使用されます。
別名	CASP7; CASP-7; CMH-1; ICE-LAP3; LICE2; MCH3; カスパーゼ-7

製品情報

種	人間
由来	E. coli
外□	凍結乾燥された
EC番号	EC 3.4.22.-
純度	90% (SDS-PAGE)
活性	~25,000U/mg タンパク質

使用法とパッケージング

調製方法	再構成後、アリコットを準備し、-80°Cで保存してください。

保管・発送情報

保存方法	-80°C